

第41回全国高等学校柔道選手権北海道大会

室蘭支部予選会 大会要項

主催 苫小牧柔道連盟 北海道高等学校体育連盟室蘭支部

主管 北海道高等学校体育連盟室蘭支部柔道専門部

期日 平成30年11月17日(土) 9:00 開場
9:15~ 9:45 計量
9:45~ 9:50 顧問会議
9:50~ 9:55 審判会議
10:00~ 10:15 開会式
10:25 試合開始
試合終了後、閉会式

会場 北海道栄高等学校 柔道場
白老町緑丘4丁目676

参加資格 1. 高等学校生徒で、平成12年4月2日以降に生まれた者。(平成30年4月2日現在で、18歳未満の者であり第1・2学年に在籍)但し、同一学年での出場は1回限りとする。
2. 平成30年4月以降当該学校在籍の者で卒業学年を除く。
3. 転校生で、転校後半年未満の者は出場できない。但し、一家転住の場合はこの限りでない。
4. 道高体連に加盟した学校および(財)全日本柔道連盟に登録した選手であること。
5. 日本体育・健康センターに加入している者。
6. 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入している者。
7. 保護者の出場同意のある者。
8. 高等専門学校・専修学校および各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

チーム編成 【男子団体】 1. 1校1チームとし、監督1名、選手6名、マネージャー1名の計8名とする。
2. 全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成は認めない。
【女子団体】 1. 1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠2名、マネージャー1名の7名とする。(先鋒52kg級、中堅63kg級、大将無差別とする。但し、体重の軽い者は重い階級に出場できる。補欠は該当する体重区分に出場できる。)
2. 全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成は認めない。

試合方法 【男子団体】
1. 出場チームによるトーナメント法で行う。但し、出場チーム数によりリーグ戦とする場合がある。
2. 各チーム間の試合は勝ち抜き戦とする。
3. 試合は各チーム5名で行い、試合毎のオーダーの変更を認める。
(3名の団体戦出場も認める。)

【女子団体】

1. 試合は3名の点取り戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。

【個人試合】

1. 試合はトーナメント法で行う。但し、出場者数による。
2. 男子は体重別トーナメントにより行う。出場者数を特に制限しない。
※男子体重別は下記の5階級とする。
60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別級
3. 女子は体重別トーナメントにより行う。但し、出場者数による。
4. 女子個人試合については、出場者数を特に制限しない。
※但し、全道大会は次の5階級で行う。
48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別級

- 試合規定
1. 試合は国際柔道連盟試合審判規定による。
 2. 「優勢勝」の判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。但し、団体試合の代表戦および個人試合はゴールデンスコア方式を適用し、必ず勝敗を決する。
※僅差は指導差2以上とする。
 3. 試合時間は、団体・個人とも3分とする。
- 参加申込
1. 学校長の承認を得て、別紙申込書にて、下記アドレスに送付のうえ、
原本を当日持参し事務局に提出のこと。
申込先 info@hokkaidosakae.ed.jp
 2. 大会事務局 〒059-0998
白老郡白老町緑丘4丁目676
北海道栄高等学校
全国高等学校柔道選手権室蘭支部予選会事務局
堤 士郎
Tel (0144)82-2185 Fax(0144)82-3214
 3. 申込み期日 平成30年11月9日(金)必着(期日厳守)
 4. 参加料 1名700円(団体・個人両試合に参加する者は1名分とする。)
※大会当日、受付時に支払うこと。
- 組合せ
1. 団体試合については、同年度、高体連室蘭支部大会上位4校をシードする。
 2. その他組合せ全般については、大会事務局で責任をもって行う。
- 全道大会
1. 団体試合は、上位3校を室蘭支部の代表とする。
 2. 男子個人試合は、各階級上位4名(無差別級は上位12名)を室蘭支部の代表とする。女子個人戦は各階級自由参加とする。
- 脳震盪について
1. 大会1ヶ月以内に脳震盪を発症した場合は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 2. 大会中、脳震盪を発症した場合は、継続して試合に出場することを認めない。
- 諸連絡
1. オーダー用紙は受付後すみやかに記入し、記録係に提出すること。尚、一度提出したオーダーの変更は認めない。
 2. 参加申し込み後、出場者に変更が生じた場合は、当該学校長の証明書を添えて、監督会議までに大会事務局に届け出ること。
 3. 紅白帯は、出場校で準備すること。
 4. 参加者は全員ゼッケンをつけること。
 5. 柔道衣の大きさについては各校で十分に点検すること。(試合ができなくなることもある)
 6. 選手・マネージャーの上履きは各自で持参すること。
 7. 貴重品の管理は各校で責任をもって行うこと。
 8. 宿泊については各校で手配すること。
 9. 大会当日、プログラムは配布しない、大会前日までに北海道栄高校ホームページに掲載するので、各自プリントし、持参すること。